

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年3月29日

長野地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	10	課題区分	C		
実施機関	商工観光課			担当課	所属 商工観光課
事業名	果物の新商品開発支援事業			電話	026-234-9528
				E-mail	nagachi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	食品産業製造品出荷額等が県内1位という長野地域の強みを生かせるよう、果物を生かした新商品の開発について、宿泊業や飲食業などの実需者のニーズを踏まえて企画から販売までを支援する。			
	現状と課題	長野地域は、県下最大の果物生産地であり、また果物を使った飲料やジャムなどの加工食品の開発に取り組む事例も多いが、以下の課題を抱えている。 (1) 果物の加工食品は、数十年前から当地域及び全国の他地域においても取組んでおり、マンネリ化している(特に、ジュース、ジャム、菓子、調味料など)。 (2) 新商品の開発案件の中には買い手の視点が不足しているため販売が思わしくない。 (3) 食品の本来の価値である食味、栄養等は外見からはわからず、また、地域の良いイメージを商品イメージに取り込めていない場合が多い。 (4) 当地域においてもインバウンドを推進しているが、インバウンド向けの有力な土産物がなく、インバウンドのショッピング需要をつかめていない。			
概要	内容 (変更後の内容)	果物の食感、長期間保存をキーワードに、インバウンド向けの地域の果物を使用した新商品開発を支援する(関係機関と連携したコンポートの試作)。			
	事業期間	平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日			
等	成果目標 (成果指標)	果物を活用した新商品の開発を支援することにより、長野地域の果物加工食品の付加価値向上を図る。また、広域的な販路開拓支援を行うことにより、長野地域果物を活用した加工食品のブランディング効果、認知度向上につなげる。			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考	
	果物の新商品開発等支援事業	果物を購入し、中温高圧製法によるコンポートの試作を行う。また、試作品の試食等を通じてPRする。	179,391	<ul style="list-style-type: none"> ・試作品の衛生検査 ・職員旅費 ・果物購入費 ・試食会用消耗品 	
	合計		179,391		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	<p>《果物の新鮮な食感と長期間保存をキーワードにした新商品開発支援》関係機関と連携して、地域の果物を活用した新技術によるコンポートを試作し、商談会でバイヤーに、Sweets buffetでパティエに、ジビエ・ワイン・フルーツ魅力発信事業でシェフ及び消費者に、駐日各国大使館員長野県視察ツアーで各国大使館員等に試食を通じた意見を聞いた。</p> <p>《果物付加価値向上セミナー》一般向け及び飯綱町産のりんごの付加価値向上のため、工業技術総合センター食品技術部門(しあわせ信州食品開発センター)の機能と加工食品の支援事例を紹介するセミナー及び見学会を1月28日に開催し、新商品開発を支援。出席者30名。</p> <p>《『あんず』を活用したスイーツ開発》部局長会議での商品PR、Sweets buffetへの参加等の広報活動を支援。</p>		<p>・様々な立場の人の意見を聞き、研究機関等へフィードバックしたことにより、商品化への検討材料となった。</p> <p>・試食や技術紹介により、販売意欲が高いバイヤー等を把握。</p> <p>・新商品開発意欲が高い事業者や食品技術部門への相談案件の発掘となった。</p> <p>・セミナー後の試作品提供依頼が2件あり、パティエによる商品開発の意見を受けた。</p>		<p>○ 期待以上</p> <p>● 期待どおり</p> <p>○ やや下回る</p> <p>○ 期待以下</p>
今後の方向性	新商品開発意欲の高い事業者と販売意欲の高いバイヤー等を繋ぎ、新商品開発を継続的に支援していく。				